



Cool and 
Refreshing



August - September 2022

こ ん な **本**



読 ん で み て

take free No. **96**

目次

Cool and Refreshing 1

Book design の世界 vol.26 10

ちょこちょこ日記 #36 12

Cool and Refreshing



読むと

涼しくなる、すっきりできる

そんな本を紹介します

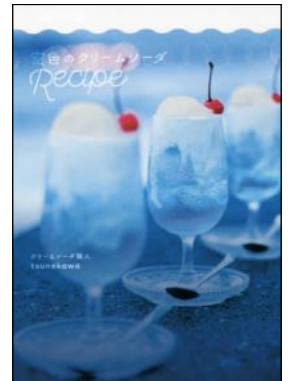
『空色のクリームソーダ Recipe』

著者 / tsunekawa

出版社 / ワニブックス

出版年 / 2019年

請求記号 / 596.7 | Ts 77



空を溶かしたようなクリームソーダは、美しく、涼し気で、夏にぴったり。実際にクリームソーダを作ってみても、ながめるだけでも、爽やかな気持ちになれる一冊です。



『ひんやりデザートBEST200』

著 者／飯倉晴武
出版社／榎出版社
出版年／2017年
請求記号／596.65||E 37

手持ちのグラスやカップを使って、気軽に作れる冷たいデザートのレシピがたくさん紹介されています。手作りだからこそ味わえる、いつもと一味違う夏の味を試してみませんか？

『お家でいただく、 ごちそうかき氷』

著 者／石附浩太郎
出版社／メディアファクトリー
出版年／2011年
請求記号／596.65||I 84



お家でごちそうかき氷を楽しんでみませんか？ミックスジュースや栗などの珍しいアレンジもたくさん紹介されていて、どれにしようか迷ってしまいます。

『バットや保存袋で作れる アイスクリーム &アイスクーキ』

著 者／若山曜子
出版社／マイナビ出版
出版年／2016年
請求記号／596.65||Y 28



こんなおしゃれなアイスが作れたら、夏をもっと楽しめそうです。保存袋やバットを使って手軽に作ることができるので、ぜひ作ってみてください。



『見て、さわって、書いて、描く はじめてのガラスペン』

著 者／武田健
出版社／実務教育出版
出版年／2021年
請求記号／589.73||Ta 59

繊細で美しい筆記具、ガラスペンの魅力が詰まった一冊です。ガラスペンのほとんどがハンドメイドなので、1本1本が異なる魅力を持つ芸術品のようです。いつか使ってみたい憧れのペンです。

『日本全国池さんぽ』

著 者／市原千尋
出版社／三オブックス
出版年／2019年
請求記号／452.93||I 13



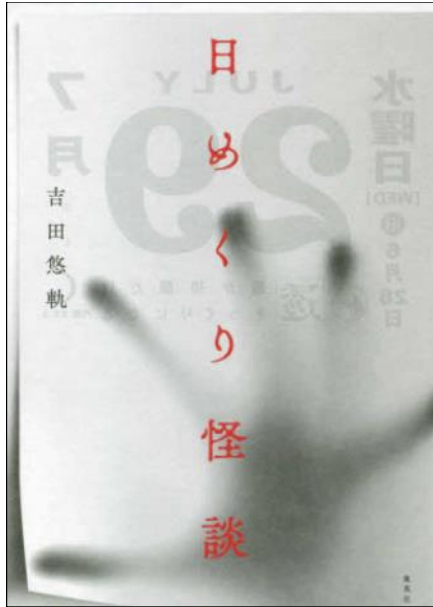
7000以上もの池を訪ね歩いた著者が、全国181の池・湖・沼を紹介する本書。池とその周辺の景色を描いたイラストからは、水辺の涼しさが感じられます。

『日本アイスクロニクル』

著 者／アイスマン福留
出版社／辰巳出版
出版年／2019年
請求記号／588.39||A 25



昭和から平成のアイスの歴史がこの一冊に！あなたの思い出のアイスは何ですか？アイスの魅力の奥深さを知ることができる本です。



『日めくり怪談』

著 者 / 吉田悠軌
出版社 / 集英社
出版年 / 2019年
請求記号 / 913.6 || Y 86

日めくりカレンダーのように7月1日から8月31日まで1日1話、短い怪談62話が収録されています。次々とページをめくりたいような、怖くてやめたいような、じわじわゾクゾクと怖さが効いてきます。

『三重の怖い話』

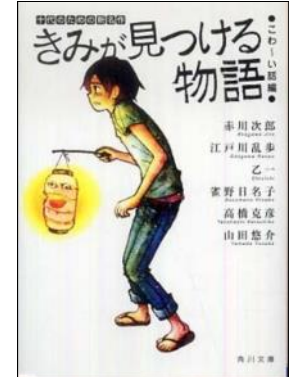
著 者 / 志月かなで, 結
出版社 / TOブックス
出版年 / 2020年
請求記号 / 388.1 || Sh 94



著者が三重県で体験者から直接聞いた話をまとめた怪談集。知っている場所や地名が出てくると、リアルにイメージが膨らんで怖さが倍増するはず。

『十代のための新名作 きみが見つける物語 こわ〜い話編』

編 者 / 角川文庫編集部
出版社 / 角川書店
出版年 / 2009年
請求記号 / 913.68 || A 29



人気作家が描いた恐怖の物語を集めた一冊です。恐怖の種類は様々ですが、本当に怖い話ばかり。読む勇氣はありますか？



『夏の体温』

著 者／瀬尾まいこ

出版社／双葉社

出版年／2022年

請求記号／913.6||Se 76

出会いを描いた3つの物語が収められています。入院中の小学生を描いた「夏の体温」、瀬尾さんの描く「悪人」が気になる「魅惑の極悪人ファイル」、中学1年生の国語教科書に掲載された「花曇りの向こう」。爽やかな感動が広がる一冊です。

『四畳半』

『タイムマシンブルース』

著 者／森見登美彦

原 案／上田誠

出版社／KADOKAWA

出版年／2020年

請求記号／913.6||Mo 54



真夏の京都、アパートで唯一のクーラーが動かなくなり、思いもよらない物語が始まります。登場人物と共に夏を駆け抜けるような気持ちで楽しめます。

『スキマワラシ』

著 者／恩田陸

出版社／集英社

出版年／2020年

請求記号／913.6||O 65



廃ビルに現れるという、白いワンピースに麦わら帽子の少女。古道具店を営む兄と、不思議な力を持つ弟が様々な謎と出会う、ファンタジックミステリー。



Book design

の世界

vol.26

川谷 康久 さん

(川谷デザイン)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第26回目は、川谷 康久さんです。

川谷康久さんは、2001年に独立後、川谷デザインを設立されました。マンガや小説の装丁を中心に活動され、「マーガレットコミックス」や「新潮文庫nex」などのフォーマットデザインも手がけられています。

はじめにご紹介するのは『私はあなたの瞳の林檎』(舞城王太郎著／講談社／2018年／913.6||Ma 31)と『されど私の可愛い檸檬』(舞城王太郎著／講談社／2018年／913.6||Ma 31)



装画：井上奈奈
装丁：川谷康久
フォントディレクション：紺野慎一

です。それぞれ恋と家族をテーマに2か月連続で刊行された作品集です。井上奈奈さんのやわらかな印象の装画とPOPな色使いがかわいいデザインです。2冊を並べると林檎と檸檬の文字がつながるようにデザインされていて遊び心を感じます。川谷さんはこちらのデザインコンセプトについて「整った文芸作品の佇まいというよりも、POPで手作り感のあるZINEのようなイメージで、色数を絞りやや粗めな質感で全体をまとめた。」と説明されています。

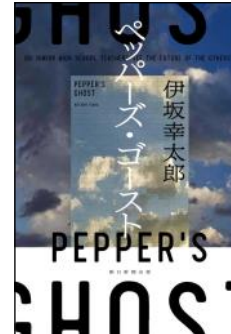


装丁：川谷康久
装画：青依青

『沖晴くんの涙を殺して』(額賀滯著／双葉社／2020年／913.6||N 99)。透明感のある装画はmochaさんによるもので、表と裏で違うイラストが使われています。意味深なタイトルが滲んだ文字で書かれていて、どんな物語なのか気になるデザインになっています。



装丁：川谷康久
装画：mocha



装丁：川谷康久
写真：Bill Barfield/Moment/Gettyimages

最後に『ペッパーズ・ゴースト』(伊坂幸太郎著／朝日新聞出版／2021年／913.6|| 68)をご紹介します。どこか不思議な印象を受ける表紙には、ビルに青空が写り込んでいる写真が使われています。タイトルや作品と響き合うようなスタイリッシュな装丁です。

今回ご紹介した川谷康久さんの手がけられた装丁は、デザインの中に作品の持つ雰囲気が出されていて、一冊一冊が語りかけてくるように感じました。次回もお楽しみに！

参考・引用文献：『ブックデザイン365』

(パイインターナショナル編著／パイインターナショナル／2020年／022.57||P 15)
『ダ・ヴィンチ』2021年1月号 No.321 (KADOKAWA)
「あのデザイナーが選ぶグッドルッキング本」

ちょこちょこ日記 #36 「ロッキーロード」

今号は「Cool and Refreshing」をテーマに、涼しくすっきりした気持ちになれるような本を紹介しました。

3 ページで紹介した『バットや保存袋で作れるアイスクリーム&アイスクーキ』（若山曜子著／マイナビ出版／2016年／596.65||Y 28）

の中から、【ロッキーロード】というアイスを作ってみました。材料も手に入りやすいものばかりで、ステンレスのバットは100均で買いました。材料を混ぜ、バットにクッキーを敷き材料を流し込んで、その上にマシュマロとクッキー、アーモンドチョコを乗せました。3時間以上冷凍庫で凍らせたら完成です！市販のお菓子を使っているのでも、味もしっかりとしていて、食べごたえがありました。楽しく作って、とてもおいしくできて、大満足でした！また今度はどのアイスを作ろうかと楽しく考えています。



みなさんも紹介した本を読んで、アイスなどの冷たいデザートを、ぜひ作ってみてくださいね。

次号 No.97 は、2022年10月発行予定です。

こんな本読んでみて No.96

2022年8月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>